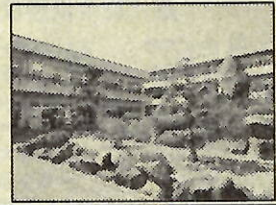


大志ゆめみん



新年あけましておめでとうございます。

～3学期始業式 校長講話より～



新年あけましておめでとうございます。この冬休み、みなさんはどう過ごしましたか。3年生は勉強中心という人も多かったと思います。ほかにも、宿題をしたり、のんびりしたり、正月休みらしい時間を過ごせたでしょうか。

さて、毎年、1月2日と3日にテレビで箱根駅伝を放送しています。駅伝といえば、この前の全国高校駅伝では、女子の長野東高校が優勝、男子は佐久長聖が2位と、長野県が大活躍しました。箱根駅伝は、東京と箱根間を往路5区間(107.5Km)、復路5区間(109.6Km)の合計10区間(217.1Km)を大学20校で競う陸上競技です。217.1キロというのは、松本市～長野市の間を高速道路で往復して、もう一度長野市へ行って、まだ12キロ足りない距離です。その箱根駅伝は1920年に始まり、今年が第99回、来年は100回大会となります。そんな箱根駅伝をいくつかのデータで見えます。

データで見る箱根駅伝 ① 「〇〇県出身者」

- 13人 千葉県
- 10人 宮城県
- 9人 茨城県
- 8人 愛知県 群馬県 埼玉県 長野県
- 7人 神奈川県 佐賀県 東京都 福岡県
- 6人 鹿児島県 京都府 広島県 静岡県
- 福井県 兵庫県
- 5人 愛媛県 岡山県 熊本県 ケニアなど

テレビを見ていると、選手の名前が出るときに出身高校名が出る時があります。それを見て、「何県のどんな高校出身者が多いのかな」と思い、ネットで調べてみました。今年の実際走った200名の選手のデータを見ると出身県はこのようになりました。千葉県13人、宮城県10人、茨城県9人、愛知県・群馬県・埼玉県・長野県8人…

また、県出身選手の出身高校を調べると、佐久長聖高校6人、上田西高校・上伊那農業高校1人でした。

次に選手がどのくらいのスピードで走っているかを計算してみました。今大会で、4区 20.9キロをちょうど1時間で走り、区間新記録を出したイェゴン・ヴィンセントというケニア出身の選手がいます。20.9キロをちょうど1時間ですので、時速20.9キロということです。これを100メートルをどのくらいで走るかで計算し直すと、100mを17.2秒です。このスピードで走ることを1時間続けるということです。みなさんの100メートルのタイムと比較してみてください。私が今、100メートルを17秒で走れると言われると自信がありません。それを1時間続けるなんて、私にはとんでもないことだと思います。箱根駅伝を走る人は、そんな世界の人たちということです。

データで見る箱根駅伝 ④ 「5区箱根の山登り」

ネットのあるデータによると…

- 区間全体の平均勾配は、3.1%
(100m進むごとに、3.1m登る)
- 本格的な山登り区間(13.4km)では、5.2%
(100m進むごとに、5.2m登る)
- 最も厳しい区間(2km)では、13.4%
(100m進むごとに、13.4m登る)

1日目の最終区間は有名な5区です。箱根の山登りといって、20.8キロの区間で約800mの高低差を登り切る区間です。この高低差を登るといことがどれだけすごいかをどう表現すればいいか、いいものが見つかりませんでした。こういうデータがありました。区間全体の平均勾配は3.1%。これは、100m進むごとに3.1m登るといことです。100m走のタイムを計るときに、ゴール地点が3.1mの高さのところがあると想像してください。これは、区間全体の平均勾配ですが、山登り区間13.4kmだけを取り出すと、5.2%になり、さらに、最も厳しい2kmの区間は、13.4mだそう。100m先に13.4m、本校の校舎くらいの高さとなります。

データで見る箱根駅伝 ⑤
「歴代総合優勝校」

14回 中央大学	4回 東洋大 大東文化大
13回 早稲田大	3回 山梨学院大
12回 日本大	2回 神奈川大
11回 順天堂大	1回 東海大 亜細亜大
10回 日本体育大	専修大 慶應義塾大
8回 駒澤大	東京高等師範学校
7回 明治大	※現・筑波大学
6回 青山学院大	

そんな箱根駅伝。今年で 99 回目ですが、総合優勝をしたことのある大学は、17 校だそうです。最多は、今年2位となった中央大学の 14 回です。17 校しか優勝したことがないというのは、いかに力のある選手を 10 人そろえることが難しいかということかと思えます。

箱根駅伝に関していくつかのデータをお見せしましたが、駅伝という競技の見所は、たすきをつなぐということだと思います。この駅伝を学校に見立てると、1 年生は「松島中学校1年生」、2 年生は「2 年生」、3 年生は「3年生」

というたすきをかけ、松島中学校の歴史の中の、令和4年度という区間を走っています。令和 4 年度 3 月末という中継地点まで、残りも3学期を残すのみとなりました。その中継地点で、令和5年度の「1年生、2年生、3年生」にたすきをつながなければなりません。あなたは、どのように、どんなたすきをつなぐのでしょうか。



懸命に走り抜いて、汗がしみこんだたすきを、やりきった思いとともに、次の学年を信じて「次は任せろ」と引き継ぐのでしょうか。

「自分はやり抜くことができなかった。不甲斐ない先輩で悪い。自信を持って引き継いでもらうものがない」と、たすきをつなぐことを諦め、令和5年度4月が来たからと、後輩に繰り上げスタートをしてもらうのでしょうか。

また、1、2年はたすきを引き継いだ瞬間に、令和4年度の区間を走った先輩からたすきを受け取らなければなりません。どう受け取りますか。「先輩、お疲れ様でした。令和5年度という区間は私たちに任せてください。このたすきを

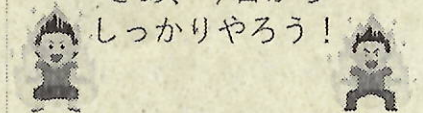
次の学年に引き継ぐまで、しっかりと走り抜きますから」と、受け取るでしょうか。

「先輩はがんばってくれた、でも、自分はそのたすきを受け取るだけの自信が無い、大丈夫だろうかという不安がある。だめだ、走り出せない」と、途中棄権をしてしまうのでしょうか。

どんな形で、どんなたすきを次の学年に引き継ぐか、先輩からどう受け取るかは、まだ決まったわけではありません。令和4年度という区間には、今日から始まった3学期という時間が残されています。今まで走ってきた令和4年度の1、2学期にやり残したことがあれば、この3学期というラストスパートにかけてください。そして、自信を持って、次の後輩ランナーにたすきを引き継ぎ、先輩からたすきを受け取る。3 年生は後輩を信じて、たすきを託し、松島中学校という駅伝から卒業し、ゴールのテープを切る。そんな3学期となることを期待して、私の話を終わります。

校長先生のお話
終わります

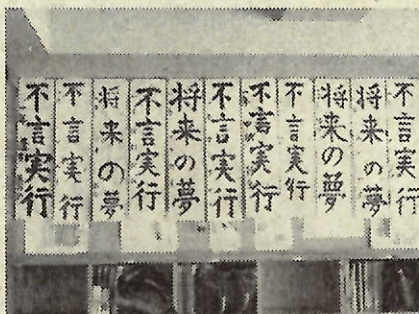
さあ、今日から
しっかりやろう！



【校内の掲示物から】

左はあるクラスの書初めの展示です。右は、2学年廊下に掲示してある3年次の修学旅行のテーマです。

書初めに新年の思いを込め、テーマに学びの願いを込め、令和5年が始まりました。



本年も、保護者の皆様、地域の皆様の本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～ 2月の予定 ～ *予定は、変更することがあります。

- 公立高校前期選抜(2日)
- 3年模擬テスト(9日)
- PTA 総委員会(13日)
- 1,2年期末テスト(16日)

この紙は、市役所で発生した使用済古紙を製紙機で再生したものです。